



チュロンコン大学

(Chulalongkorn University)

(タイ王国)

交流協定締結年月日：2010年2月1日 主管学部：農学部



理学部食品工学科の新設棟



構内の伝統的な建築物



郊外サラブリでの加工実習施設風景

国際交流の特色(大学紹介)

チュロンコン大学は1917年にVajiravudh王(ラマ6世)により設立され、彼の父の名前に因んでチュロンコンと呼ばれるようになった。当時は行政学、工学、医学、文理学の4つの学部から構成され、初期原資や王家の宮殿を寄付し作られた。文理学部はラマ6世の宮殿内にあった。1929年行政学部は法学部と政治学部に分かれた。1962年以降大学院教育に教育の主軸を移し、研究センターや研究所の設立を実施してきた。現在19の学部、23の大学院や研究施設等を有する総合大学であり、理学部には香川大学農学部卒業生が教員として活躍している。

交流実績(平成25年度～27年度)

年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
受入・派遣			
学生の受入	4	5	5
学生の派遣	16	12	12
研究者の派遣	3	3	3



交流協定調印式

教員からの声

チュロンコン大学は、タイで最も古い最高の名門校です。チュロンコン大学の先生、学生は超エリートですが、気さくな方が多く、まさしく微笑みの国タイと言った感じです。私の研究室では、チュロンコン大学理学部の海洋科学科Lirdwitayaprasit准教授と、環境科学科Srithongouthai講師と交流を続けています。両氏は、香川大学農学部に留学し博士号を取得されています。現在、私の部屋では、チュロンコン大学から1名の学生を受け入れています。私も、最近では、ほぼ毎年調査のためチュロンコン大学にお邪魔して学术交流を深めています。

農学部教授 多田邦尚

その他、理学部食品工学科や工学部応用化学科から毎年数名、短期留学生を受け入れ、香川大学農学部にて食品工学の研究や食品の安全に関する研修等を行い、学生交流を行っています。

農学部教授 田村啓敏

チュロンコン大学
(Chulalongkorn University)
ホームページ <http://www.chula.ac.th>

●学部学生
●大学院生

約25,000人
約12,000人

●教職員 約8,100人